

いばらき県議会だより



偕楽園 UME The Lights 2026

期日:2026年2月13日(金)~3月15日(日)(金・土・日・祝日のみ)
時間:18:00~20:30(最終入場20:00)

偕楽園(水戸市)

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
先の第4回定例会におきまして、第119代副議長に就任いたしました。職責の重大さを痛感するところござります。人口減少社会において、地域の活力をさらに高めていくためには、ビジネス・観光などさまざまな分野の交流拡大と活性化を図る必要があります。本県では、交流を支える陸・海・空の広域交通ネットワークが整備進展し、産業の活性化や観光振興が図られてきましたが、北関東の玄関口として経済・交流活動を支える茨城港常陸那珂港区や広域的な幹線道路の整備推進などにより、ネットワークのさらなる拡充に取り組むことが重要であります。



交流の拡大と活性化を図り、
地域のさらなる活力向上を

茨城県議会副議長 下路 健次郎

一方、地震や台風、ゲリラ豪雨など、頻発化・激甚化する自然災害などから県民の命と健康、暮らしを守るために、万全の備えを進め、防災・減災やインフラの老朽化対策などを、災害・危機に強い県づくりに取り組まなければなりません。また、原子力災害における広域避難計画について、市町村が実効性のある計画を策定できるよう、しっかりと支援していくことも重要であります。

県議会においては、県民の皆さまの声を県政に反映できるよう、館議長を補佐し、円滑な議会運営に努めてまいりますので、県民の皆さまには、なお一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申上げます。

正副議長就任あいさつ

新年明けましておめでとうございます。昨年12月の第4回定例会におきまして、第118代議長に就任いたしました。職責の重さに身が引き締まる思いであります。長引く物価高騰が県民生活や地域経済に大きな影響を及ぼしており、経済力を高める施策を推し進めるとともに、物価上昇を上回る持続的な賃上げの促進を通じて経済の好循環を確実なものとすることが重要であります。また、成長産業の企業誘致を強力に進めるとともに、新たな産業用地の確保などにより企業立地を加速し、若者に魅力ある雇用をつくる必要があります。特に、新規立地企業への地元雇用を促進し、本県出身の若者の定着

に結び付けることは極めて重要であります。一方、医師の不足や地域偏在を解消するとともに、再編の方針が示された水戸保健医療圏について、病院の統合・機能分化に向けた協議を加速する必要があります。さらに、子どもたちが県民であることに誇りを持ち、郷土を愛する心を育てることも重要であります。私は議長として、県議会におけるさまざま取り組みを通じて県民に身近な開かれた議会となるよう務めながら、地域の声を県政に反映し、県全体の発展につなげられるよう、県民の皆さまにおかれましては、一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申上げます。

**議会改革をさらに進め、
県民に身近な開かれた議会の実現を**

茨城県議会議長 館 静 馬

茨城県議会議長 館

静 馬

〈県議会HP〉
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>
本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています

〈いばキラTV〉
<https://ibakira.tv>
本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています

〈県議会公式X〉
<https://x.com/ibarakikengikai>
本会議や委員会などの議会活動の情報を発信しています

〈県公式LINE〉
<https://lin.ee/6xV7ZIQ>
友だち追加で、いばらき県議会だよりの発行情報などをお届けします

No.234

発行:茨城県議会
編集:県議会情報委員会
[年4回発行] ※音声版・点字版の県議会だよりも作成しています

主な内容

- 第4回定例会の主な日程、一般質問 2~3面
- 今定例会で可決された議案など 3面
- 常任委員会の審査から 4面
- 閉会中の委員会活動 5面
- 各会派基本方針など 6面
- 決算特別委員会など 7面
- 未来を拓く新たな茨城づくり調査特別委員会など 8面

一般質問(要旨)

議員 近年急増しているインバウンドや首都圏などの旅行者を地方に呼び込むためには、アニメやワインなど、地域特有の観光資源を活用したツーリズムが必要であると考えるが、今後の取り組みは。

議員 県内の市町村や観光事業者との連携を一層強化し、他県と差別化できるような珠玉の企画の造成を進めるとともに、引き続き、アニメなどのコンテンツを活用した特長的で話題性のあるプロモーションを展開していく。

議員 外国人犯罪の取締強化並びに外国人対策予算と人員の確保

議員 外国人受け入れの拡大に伴う地域住民の体感治安改善のため、外国人犯罪をどう取り締まるのか。

議員 地域ごとの実態を踏まえ、外国人と地域住民とが共生する茨城づくりを、どう進めていくのか。

議員 優秀な外国人材の受け入れ環境を整備する一方、県条例の制定検討など不法就労に対する取り組みのさらなる強化を図る。また、ヤードの監視を強化し悪質な事業者に厳正に対処する。さらに、副知事をトップとするプロジェクトチームを新設し、地域ごとの実情を把握の上、外国人などによるルル違反への包括的対策を講じる。

議員 来日外国人の犯罪検挙件数の推移(令和4年~6年)

議員 基づく外国人住民と地域住民とが共生していくための取組等

議員 小中高校生のオーバードーズ・自殺防止対策なども質問)

議員 大井川県政3期目の県北振興

議員 県北地域の振興を最優先課題と位置付け、私自らが先頭に立ち、地域特性を生かした「差別化」を図り、従来の枠にとらわれない新たな発想で、地域と共に資源を磨き上げ、県北地域が人口減少社会のロールモデルとなることを目指し全力で取り組んでいく。

議員 県立高校の防犯対策、ニセ電話詐欺対策なども質問)

議員 いばらき県議会だより

議員 ことば



石塚 隼人 議員
いばらき自民党
坂東市・五霞町・境町選出

議員 基づく外国人住民と地域住民とが共生していくための取組等

議員 小中高校生のオーバードーズ・自殺防止対策なども質問)

議員 大井川県政3期目の県北振興

議員 県北地域の振興を最優先課題と位置付け、私自らが先頭に立ち、地域特性を生かした「差別化」を図り、従来の枠にとらわれない新たな発想で、地域と共に資源を磨き上げ、県北地域が人口減少社会のロールモデルとなることを目指し全力で取り組んでいく。

議員 ことば

議員 いばらき県議会だより

常任委員会の審査から

問 金利上昇による県債借り入れや資金運用への影響は。

答 令和7年10月の県債の金利は1・79%で前年比0・767%上昇したが、県債の発行抑制で14年ぶりに県債残高が2兆円を下回るなど、健全化を進めている。基金の債券運用は、令和6年までの定期預金と比べ、1億3600万円の運用益の増加を見込んでいる。

問 生成AIを活用する職員の育成の状況や今後の方針は。

答 階層別研修や実践ワークを実施するとともに、ガイドラインや好事例の共有により職員のスキル向上を図っている。

問 サツマイモ基腐病の発生状況と生産者への支援策は。

答 県内では過去に県北・県南で3件発生し、今年度ひたちなか市で初めて発生を確認したため、防疫措置を講じた。本病のまん延防止のため、発生現場では2年間かんしょを作付けしないこととしており、栽培品目の選定、技術指導などの生産者支援を行う。

問 プロサッカー観戦を契機に本県への観光誘客を促す「アウェイツーリズム」が効果だと考えるが、所見は。

答 スポーツ観戦は本県を訪れる好機であるため、府内をはじめ、地元自治体や観光協



ひたちなか市の名産品のかんしょ

営業戦略農林水産委員会

サツマイモ基腐病発生後の生産者への支援策はかんしょ以外の栽培品目の選定、技術指導などの支援を行う

会などと連携し、観光や宿泊情報を発信するなど、茨城の魅力を感じてもらえるよう、取り組んでいきたい。

(ほかに、常陸国天然まがのブランド力強化、ツキノワグマ出没を見据えた観光客への情報の発信なども質問)

総務企画委員会

金利上昇による県債などへの影響は

問 金利上昇による県債借り入れや資金運用への影響は。

答 令和7年10月の県債の金利は1・79%で前年比0・767%上昇したが、県債の発行抑制で14年ぶりに県債残高が2兆円を下回るなど、健全化を進めている。基金の債券運用は、令和6年までの定期預金と比べ、1億3600万円の運用益の増加を見込んでいる。

問 生成AIを活用する職員の育成の状況や今後の方針は。

答 階層別研修や実践ワークを実施するとともに、ガイドラインや好事例の共有により職員のスキル向上を図っている。



生成AIの活用イメージ

(ほかに、県の経常収支比率の状況や数値改善に向けた取り組み、職員の通勤環境改善のための通勤手当支給の在り方なども質問)

防災環境産業委員会

ツキノワグマの緊急銃猟を行う人材の確保への取り組みはライフル銃所持者を派遣できる体制の構築などに取り組む

問 ツキノワグマが出没した際に、市町村長の判断で実施する「緊急銃猟」を行う人材の確保にどう取り組むのか。

答 県獣友会と連携して、出没の可能性が高い県北地域のライフル銃所持者を登録し、市町村に派遣できる体制の構築を図る。また、捕獲研修や射撃訓練による技術向上を図っていく。

問 坂東市内で発生した再生資源物屋外保管事業場の火災を受け、基準不適合の事業者へどう指導していくのか。

答 保管状況などが不適な100事業場へ立入検査を実施し、改善、火災発生防止を指

導する。指導に従わない場合は、命令や許可取り消しを行なうなど、厳正に対処していく。

(ほかに、茨城県国土強靭化計画改定に係るリスクシナリオ・指標の設定方針、ものづくり企業に対する国際展示会出展支援なども質問)



令和7年6月に大子町で確認されたツキノワグマ(住民提供)

文教警察委員会

教員の働き方改革の成果はさまざま取り組みにより、時間外在勤等時間が着実に減少した

問 近年、学校現場における教員の働き方改革が進められているが、その成果は。

答 腐朽菌の発生と感染拡大が原因である。対策は、文化財である地下遺構より上部の根株や土壤の撤去、消毒などを実施した後、12月中旬から新たな苗木を補植し、経過観察を行っていく予定である。



ボイスフィッシングに注意

問 県立中央病院のがんディケアサロンの利用状況は。以前のように毎週開催してもらいたいと考えるが、所見は。

答 令和7年5月に再開し、11月までに7回開催、延べ28回数は、参加者の動向を見ながら検討していく。

問 こども誰でも通園制度を

本格実施するに当たり、手を挙げる施設数や保育士の配置数による枠の制限などの問題があると思うが、見通しは。

答 現時点で県内市町村にお

いては、約100施設が手を

挙げている。職員配置などに

月に1回開催している。今後は参加者の動向を見て検討する

問 県立中央病院のがんディ

ケアサロンの利用状況は。

以前のように毎週開催してもら

いたいと考えるが、所見は。

答 令和7年5月に再開し、

11月までに7回開催、延べ28

回数は、参加者の動向を見

ながら検討していく。

問 こども誰でも通園制度を

導する。指導に従わない場合

は、命令や許可取り消しを行

なうなど、厳正に対処してく

る。

問 こども誰でも通園制度を

導する。指導に従わない場合

開会中の委員会活動

営業戦略農林水産委員会 (金子晃久委員長)

【重点審査テーマ】営業戦略部関係：国内外から選ばれる、魅力ある茨城づくりの推進
農林水産部関係：農林水産業の成長産業化の推進

御前山ビレッジ (常陸大宮市)

御前山ビレッジは、「まちグランピング」が手掛ける「常陸秋そば」をテーマにした複合施設です。自社栽培の有機そばを施設で製粉し、打ちたてで提供するほか、宿泊施設やサウナを併設しています。海外からのインバウンドの取り組みなどの説明を受けました。



常陸秋そばの説明を受ける委員

THE BOTANICAL RESORT 林音 (那珂市)

THE BOTANICAL RESORT 林音は、従来の植物園にはない、泊まる・食べる・遊ぶなどの体験を楽しめる「日本初の泊まれる体験型植物園」です。県産木材を生かした温浴施設や県産食材を使ったレストランなどリニューアル施設の説明を受けました。



事業概要などの説明を受ける委員

土木企業立地推進委員会 (高橋勝則委員長)

【重点審査テーマ】地域の活性化に寄与する戦略的な企業誘致、インフラ等の整備及び人材育成

一級河川 沢渡川 (水戸市)

沢渡川河川改修事業は、豪雨に伴う周辺地域の浸水被害を解消し、再度災害防止を目的として整備しており、今年度は捷水路整備工事などを実施しています。

事業概要や進捗状況などの説明を受け、現地視察を行いました。



現地視察をする委員

常陸那珂工業団地拡張地区 (ひたちなか市)

常陸那珂工業団地拡張地区では県施行による企業ニーズを捉えた産業用地の整備を行っており、今年度は造成工事や区画道路の新設工事などを実施しています。

事業概要や進捗状況などの説明を受け、現地視察を行いました。



事業概要などの説明を受ける委員

総務企画委員会 (飯田智男委員長)

【重点審査テーマ】市町村域を超えた地域振興策の取組及び広域連携

常総市役所 (常総市)

常総市では、株式会社本田技術研究所と協定を締結し、さまざまな地域課題に対応するため、「AIまちづくり」に取り組んでいます。市内で実施しているHonda CI*を搭載した自動走行モビリティの技術実証実験などについて説明を受け、乗車体験しました。



体験乗車する委員

下妻市役所 (下妻市)

下妻市では、筑西市と連携して下妻駅から筑西市の川島駅までの間で、筑西・下妻広域連携バスを運行しています。2市の連携により、運行費用負担の軽減など、効率的な運行を実現しています。両市の担当者から取り組みの内容などについて説明を受けました。



説明を受ける委員

防災環境産業委員会 (水柿一俊委員長)

【重点審査テーマ】環境に配慮した持続発展可能な社会づくり

公益社団法人茨城県農林振興公社 園芸リサイクルセンター (茨城町)

園芸リサイクルセンターでは、農業用使用済プラスチックを適正処理し、環境にやさしい園芸を進める取り組みを行っています。センターで実施しているリサイクルシステムについて説明を受け、工場棟やストックヤードなど施設内を視察しました。



施設を視察する委員

来福酒造株式会社 (筑西市)

来福酒造株式会社は、享保元年(1716年)に創業した老舗酒造で、代表銘柄「来福」などの醸造や「花酵母」を使用した日本酒造りを行っています。日本酒造りの概要や現状と課題などの説明を受け、酒蔵の見学を行いました。



説明を受ける委員

文教警察委員会 (磯崎達也委員長)

【重点審査テーマ】警察本部関係：グローバル化・デジタル化・高齢化が進展する地域社会における安心安全を守り抜くための多様な犯罪の取締り強化及び人員体制の充実等
教育庁関係：地域の未来を担う人材を地域の公立学校で育成するための教育体制の構築

茨城県教育委員会会議の傍聴 (水戸市)

教育委員会は、教育に関する事務を処理するため、都道府県、市町村などに設置される合議制の執行機関です。毎月定例で開催される茨城県教育委員会会議について、教育庁各所管課の報告および教育委員会委員による質疑を傍聴しました。



教育委員会会議を傍聴する委員

茨城県警察本部の視察 (水戸市)

茨城県警察本部における警察官の剣道訓練の様子や鑑識課、交通規制課、交通総務課の所管業務および取り組み内容について説明を受けました。交通総務課では映像シミュレーターを用いて危険予測トレーニングを体験しました。



危険予測トレーニングを体験する委員

保健福祉医療委員会 (長谷川重幸委員長)

【重点審査テーマ】県民の安心安全な生活を支える医療・福祉体制の充実

筑波大学附属病院 (つくば市)

筑波大学附属病院では高度で専門的な医師たちの適切かつ統合的なチーム診療を能率よく受けられる体制の確立・維持などに取り組んでいます。地域医療構想、医師の時間外労働規制など、県の地域医療の現状と課題について説明を受け、病院内を視察しました。



病院を視察する委員

フロイデケアタウンひたちなか (ひたちなか市)

フロイデケアタウンひたちなかは、全世代・全対象型地域包括ケアの実現を目指した地域共生多機能拠点です。フロイデケアタウンの構想、事業内容、具体的な取り組みや実施イベントなどについて説明を受け、施設内を視察しました。



施設内を視察する委員

令和8年

各派會方針基本基

いばらき自民党 議員会長

飯塚 秋男

いばりや出版局

和8年度重要政策大綱を大井川知事に提

昨年末 サッカーリーグJ1鹿島アントラーズが9季ぶり優勝、J2水戸ホーリーホックも初優勝とJ1昇格を果たしました。この勢いを引き継ぎ、県民の皆さまの1年が、今年の干支「丙午」にちなみ「気力が充実し、パワフルな年」になります。よう祈念いたします。

昨年10月に初の女性総理となつた高市首相が、就任後初の所信表明演説で「責任ある積極財政」で暮らしや未来への不安を希望に変え強い経済をつくる決意を強調し、実現への期待が高まつてきており、県政でも大井川和彦知事の3期目が始動しました。

そうした中で、いばらき自民党は昨年12月、県の新年度予算編成に向けて、令

私はもは、この重い大綱を議会活動の基盤として政務調査活動をして、議員としての活動を代表・一般質問、常任委員会審議を通じて、物議を醸す少子高齢化などにとどまらず、自然災害や害に對しても先手の「安全」を実感できることを目指してまいります。新年も、議会の監督機能の強化はもとより、予算案機能の發揮に、所長43名が一意専心に取り組んでまいります。県民のご理解とご支援をお願い申し上げます。

「安心と安全が実感で きる県政」に挑戦する

最重
手不
特

に、物価高騰対策と人足対策の2項目を緊急要政策項目として、ま

持続可能な未来へ

令和8年の新春を迎えた。日頃より地域を支えてくださる県民の皆さまに、心より感謝とお慶びを申し上げます。本年が皆さまにとりまして、安心と活力に満ちた一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

本年は、干支の「丙午」にあたり、古来より、丙午は激しさや変革の象徴とされてまいりましたが、私たちはこの強い火の気を、情熱と行動力へと転

A portrait of Seiichi Yamada, a middle-aged man with a shaved head, wearing a dark suit, white shirt, and patterned tie. He is looking directly at the camera with a slight smile. The portrait is set within a white oval frame.

こうした中、地方議会の果たすべき役割は一層重要性を増しており、私たちは本会議や各種委員会を通じて、県民の皆さまの声を政策に反映すべく、真摯に取り組んでまいります。

国民民主党は、「生活者」および「働く者」の視点に立ち、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、引き続き全力を尽くしてまいります。本年も変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

じ 地域の未来を切り拓く原動力としていきたいと存じます。また、この勢いを糧に、次なる「未年」が示す調和と成熟の年へとつながるよう、着実な歩みを進めてまいります。

茨城県は、豊かな自然環境と文化的資源に恵まれた地域であり、その潜在力を生かした持続可能な地域社会の形成が、今まさに求められております。一方で、人口減少や高齢化の進行、地域経済の停滞、激甚化する自然災害への対応など、複合的な課題にも直面しております。

輝かしい新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

人口減少は、経済活動の縮小、公共交通サービスの維持困難化、地域文化の衰退といった多方面にわたる影響をもたらします。これらを克服するには、行政・企業・地域住民が一体となつた取り組みも必要であります。

また、若者の定着策や子育て支援策

公明党は昨年11月、生活者の小さな声も政治に反映させるため、令和8年年度茨城県予算編成に向け517項目の政策要望を取りまとめ、大井川知事へ提出しました。また、物価高対策においても、生活者目線で政策提案を行つてまいりました。

今後も、生活者が希望の持てる政策を実現するため誠心誠意働いてまいります。県民の皆さまのご理解とご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

を強化しつつ、地域資源を最大限に活用した持続可能な地域づくりを推進していくことも重要であります。

さらに、近年、気候変動に伴い激甚化・頻発化する自然災害から県民の命と暮らしを守る防災・減災対策や、人口減少が進む地方にあっても生活者が安心して暮らし続けられる地域づくり

県議会の録画中継をご覧いただけます

県議会のホームページでは、これまでに開催された各定期例会における、知事の提出議案説明、各会派議員の代表質問、一般質問、予算特別委員

議会活動を文字で読むだけではなく、議場における各議員の質問・質疑の様子を映像と音声で見聞きすることで、県政で議論されている問題などを、より身近に感じいただけます。

会議名でさがす >

議員名でさがす >

会派名でさがす >

検索

会議名、議員名、会派名、質問項目です。

録画中継

-  会議名でさがす >
-  議員名でさがす >
-  会派名でさがす >

※こちらから県議会の録画中継を「」ご覧いただくことができます。



「決算特別委員会」を開催しました

本委員会（館静馬委員長）は、第3回定例会で付託された令和6年度茨城県一般会計決算などの議案を審査するため、令和7年10月20日から11月18日にかけて、6回委員会を開催し、総括説明、部門別審査および総括質疑を行った上で採決を行い、決算関係議案4件を可決および認定しました。

部門別審査では、「県立3病院の收支状況と県民への情報提供」、「水道事業及び工業用水道事業の管路更新の進捗状況」、「業務量に応じた県職員の定員管理の実施」、「シン・いばらきメシ総選挙2024の成果等を踏まえた今後の取組」、「霞ヶ浦流域における生活排水処理率の状況と高度処理型浄化槽の設置促進」、「避難行動要支援者への支援体制整備」、「動物愛護協議会設置へ向けた市町村への働きかけ」、「里親委託率向上へ向けた広報活動の状況」、「花絶景観光支援事業の成果と今後の取組」、「県内立地企業の雇用状況の継続的な把握と地元雇用の推進」、「いばらきeスポーツ産業創造プロジェクトのこれまでの成果」、「常陸牛のブランド力向上に向けた取組状況」、「小中学校の統廃合等の状況変化に応じた通学路整備」、「いじめを受けた児童生徒や家族への心理的なサポート」、「外国人運転者による交通事故の発生状況」などの質疑応答が交わされました。



総括質疑の様子



執行部へ提言書を手渡す
館静馬委員長(中央)と
黒部博英副委員長(左側)

茨城大学で出前委員会を開催しました

県議会では、開かれた議会を目指し、議会の活動を身近に感じていただけるよう、県議会議事堂以外の場所で委員会を開催する「出前委員会」を開催しています。

今回の出前委員会では、文教警察委員会（磯崎達也委員長）の審査の様子を傍聴していただき、委員会の審査後には、委員と執行部および茨城大学の学生（約80名）との間で、委員会を傍聴した感想や県の取り組みについて意見交換を行いました。

【開催結果】

日 時 令和7年11月26日(水)
午後1時10分から

場 所 茨城大学水戸キャンパス
テ マ 「地域の未来を担う人材を
地域の公立学校で育成す
るための教育体制の構築」
・ 教員の育成
・ 教員配置の在り方など



茨城大学における
出前委員会の様子

常磐大学学生と西野一議長(当時)との意見交換会を行いました

令和7年11月21日(金)午後1時から常磐大学で開催した意見交換会には、常磐大学総合政策学部の学生14名が参加しました。

意見交換会では、「選挙とまちづくり」をテーマに、「選挙投票率」や「茨城への思い」、「少子化対策」について、活発な議論が交わされました。

また、審査の過程で委員から出された「県内企業の受注機会確保による、雇用の維持及び地域経済の活性化について」など38項目の改善事項について取りまとめ、執行部に対し提言を行いました。

決算関係議案は、第4回定例会開会日の本会議で先議され、早期認定が図られました。



常磐大学における
意見交換会の様子

令和7年度12月補正予算案が可決

令和7年第4回定例会では、人事委員会勧告に基づく職員の給与改定にする経費について予算計上した予算案が提出され、本会議および常任委員会での審査を経て可決されました。

また、経済対策に係る国からの要請に対応し、物価高への緊急対策として、医療・介護分野などへの支援とともに、低所得の子育て世帯への給付金など重点支援地方交付金を活用した支援について予算計上した予算案が急ぎ追加提出されたため、休会日であった12月12日に臨時の本会議および常任委員会を開催した上で可決されました。

12月補正予算案に計上された主な事業

1 人事委員会勧告に基づく職員の給与改定等に係る経費 (12月3日提出)	100億8300万円
2 医療・介護等支援。パッケージ関連事業 (12月12日提出)	13億4200万円
新 医療機関賃上げ等支援事業 (診療所や薬局などに対する賃上げや物価上昇への対応のための支援)	40億9600万円
新 介護事業所賃上げ等支援事業 (介護事業所などに対する従事者1人当たり月1万円などの賃上げ相当額の支援)	5億2000万円
新 介護施設等食材料費高騰対策緊急支援事業 (介護保険施設などに対する従事者1人当たり月1万円などの賃上げ相当額の支援)	4億6600万円
新 介護事業所賃上げ等支援事業 (介護事業所などに対する従事者1人当たり月1万円の賃上げ相当額の支援)	11億3800万円
3 重点支援地方交付金を活用した生活者・事業者への支援 (12月12日提出)	29億4000万円
新 低所得の子育て世帯生活応援特別給付金事業 (低所得の子育て世帯に対する児童1人当たり5万円の特別給付金の支給)	6億9200万円
新 食材料費高騰への対応のための支援	1億8200万円
新 障害福祉事業所賃上げ支援事業 (障害福祉事業所に対する従事者1人当たり月1万円の賃上げ相当額の支援)	1億8200万円
・ 特別高圧受電施設等電気料金支援事業 (特別高圧契約で受電する中小企業などに対する料金負担軽減のための支援)	1億8200万円

「県議会PRコーナー」にお立ち寄りください

議事堂1階には、来庁者の皆さんに県議会への関心を高めていたくため、さまざまな情報を展示・発信する「県議会PRコーナー」を設置しています。

ここでは、県議会の歴史や役割、仕組みを分かりやすく紹介するパネルのほか、実際に使用された貴重な資料や記録を展示しています。

また、令和3年11月にはPRコーナーのリニューアルを行い、一新したモニター設備で、県議会PR映像や議員紹介映像を視聴できるようになりました。さらに、令和5年11月にはデジタルサイネージを新たに導入し、議会の活動状況を紹介するフォトギャラリーを放映しています。議事堂にお越しの際は、PRコーナーにぜひお立ち寄りください。



県議会PRコーナー

未来を拓く新たな茨城づくり調査特別委員会が調査報告(最終提言)を行いました

本委員会(半村登委員長)は、令和7年第1回定例会で設置され、以降10回にわたり、「新たな茨城づくりに向けた諸方策の在り方」について調査・検討を重ね、第4回定例会最終日に執行部への提言などの調査結果を報告しました。

調査報告では、執行部に対し、「県民が共感し、誰もが幸せを実感できる計画」、「人口減少下における戦略的な施策展開」、「地域の特性を活かした発展」、「多様性を尊重し、県民誰もが安心して暮らせる社会の実現」の4項目を提言するとともに、重点的に取り組むべき事項として、89項目の提言を行いました。

今後は、令和8年第1回定例会までに、「新たな県総合計画における本委員会からの提言の対応状況の確認」と、本委員会の調査結果報告書の取りまとめを進めてまいります。

【主な提言の概要】

- 計画全般に関する事項
 - ・進むべき方向性を明確にした計画の策定
 - ・分かりやすく、効果的な数値目標の設定
 - ・計画の構造的改善
- 「挑戦する県庁」への変革
 - ・働き方改革のさらなる推進
 - ・生成AIの効果的な活用
 - ・EBPM(根拠に基づく政策立案)の推進
- 新しい豊かさ
 - ・若者が求める企業の誘致
 - ・儲かる農業のさらなる取り組み推進
 - ・成長産業としてのインバウンドの取り込み
- 新しい安心安全
 - ・地域の救急医療などを担う民間病院への支援
 - ・地域活動に対する支援のさらなる充実
 - ・若者への健康教育の推進
- 新しい人財育成
 - ・主権者教育の推進
 - ・結婚・子育ての希望をかなえるための支援
 - ・外国人労働者の定着促進
- 新しい夢・希望
 - ・若者の県内就職に向けた効果的な支援
 - ・社会課題の解決に向けたデジタル技術の活用
 - ・全ての県民に愛着を持つてもらえる行政運営



調査報告(最終提言)を行う
半村登委員長

※報告書の全文は、県議会ホームページをご覧になれます。



県議会を傍聴しませんか

県議会の本会議は、どなたでも傍聴することができます。

県民の皆さまにより選出された県議会議員がどのようなことを審議しているのか、目の前でご覧いただける貴重な機会ですので、ぜひお気軽に越しください。

なお、本会議の傍聴を希望される方は、県議会議事堂5階の受付で住所と氏名を記入すると傍聴できます。

その他、団体での傍聴や常任委員会の傍聴などの詳細については、県議会事務局議事課までお問い合わせください。



本会議場の傍聴席の様子

委員会などの新人事

議会運営委員会は、議会運営の円滑化を図るため、議会の運営に関する事項などについて協議するために設置される委員会です。

議会運営委員会

委員長	飯田智男
副委員長	豊田茂
委員	飯塚川津石井秋男
	高橋八島邦一
	斎藤水柿直子
	中山一俊
	英彰功男
	嘉一

情報委員会

情報委員会は、県議会情報公開条例に基づき、公文書の開示決定などに対する不服申立てや議会広報の充実についての調査などを行う委員会です。

情報委員会

委員長	高橋勝則
副委員長	塚本一也
委員	鈴木将
	小松崎一
	岩澤敏紀
	秋元勇人
	大足将
	村本信
	秋嘉一
	ヘイズジョン
	光司
	修司
	信嘉一

監査委員	黒部半村	登博英
県民代表の立場から適切な県予算の執行などについて、監査を行います。		

永年在職議員表彰

11月28日に茨城県議会の永年在職議員表彰が行われました。表彰を受けた議員は次のとおりです。

30年 在職	半村	登 議員
10年 在職	水柿	一俊 議員
	高橋	勝則 議員
	江尻	達也 議員
	磯崎	加那 議員
	二川	英俊 議員
	長谷川	重幸 議員

令和8年第1回定例会の会期日程
県議会ホームページをご確認ください。



パンフレット
「わたしたちの県議会」

パンフレット「わたしたちの県議会」をリニューアルしました

県議会の傍聴者や見学者の方へ配布しているパンフレット「わたしたちの県議会」について、県議会をより詳しく知つていただける貴重な機会ですので、ぜひお気軽にご覧ください。

また、近年の取り組みや成果として、都道府県議会の中でトップクラスの制定数を誇る議員提案政策条例や、議会改革度調査において4年連続で都道府県部門第1位となつた議会改革の取り組みなどを掲載しています。

パンフレットは県議会議事堂で配布しているほか、県議会ホームページでの閲覧、ダウンロードが可能ですので、ぜひご覧ください。

パンフレットは県議会議事堂で配布しているほか、県議会ホームページでの閲覧、ダウンロードが可能ですので、ぜひご覧ください。